増産について 藁工品の夏季特別

木炭は増産されたが包装用の

繩がない。金屬は立派に回收さ 何時而も大量に、驛出しを指令一〇つて居りますが、本縣之致し 要な使途がありまして、 遺憾に存じて居ります。國さし 缺陷さでも申されてゐるこさは 奇異の感さいふよりも、統制の てゐまして、當樂者の中には、 品が滞貨で困るさいふ苦情が出 が所々に起つて居ります。而も れたが莚、叺がない。これをご 、 藁工品については、 うするかで、色々で賞面の問題 て來るかさいふ事を考慮に入 部地方では、之等所要の藁工 て置かればならず、 又其の内 遙かに重 それが 月十五日までの二ヶ月間を特定 は、中央から各種の指示をして ましては大體八月十五日から十

命も受けてゐる譯であり 致します。 此の點段解なさめやう希望 つますか 産競技會を開催することになり 期ご致しまして長期の麗工品増 ました。競技會には、藁工品産

特に夏季増産に重點を置いて、 の間接軍器を始め、一般民需は 十一、十二月の需要期を控へて 此の状態を此の儘にしておくこ 最近特に窮屈になって居ります 各位の御駕師を煩すこさになり 策の遂行にまで、悪影響を及ぼ く充足して参りましたが、 力によりまして、軍器は滯りな ました。其の方法につきまして さは、色々の関係から窓には図 すこさになりますので、本年は 事變勃發以來は、各位の御努 縣內 れんこさを切る致します。 れない人々も、大東亞戦争勝接 家業や資材の都合により参加さ 程其他の書類を配付致します。 者が決定致しましたら漏なく規 村又は郡市町村農會へ御問合せ 技方法等は各地方事務所、市町 を始め個人多數の参加を希望し 地の産業組合は必ず團體加入た くために藁工品の生産に努力さ 下されば数へて臭れます。参加 て居ります。参加の手續き、競 る外、農事實行組合、婦人會

二百七十億貯蓄總進軍記念懸賞募集 内職、 副業の實例」入選發表

貯蓄債券

等

「和服裁縫さ財布の細縹」 磯城郡總向村大字穴師 拾五圖券 枚

和服裁縫

すさ月に一人百枚は出來ますから三十五銭で、せい出しま 小供用一ツ身單衣で二十五錢 りです。 京都和接縫整會より仕事を頂 京都市伏見區直遠橋十 て居り 財布の細縄 糸は先方持ちで ます。縫賃は次の通

て持ち歩けるのが便利です 守りかた人又は驛、汽車中 個は編めます、赤ちやんのお の手すき時間利用の内職さし 夜分まで詰めてすれば一日六 めの方で一日三個位は纒め

演襲隊の派遣さいふこさも考へ 以上の外主産地に對しては慰問

て居ります。これは更めて御知

二等 貯蓄債券 鏡戴いてゐます。

「戦車帽縫ひ」 拾五飅券

の率でいはば月相當の額にな 金一圓二十錢さいふ勘定でこ 日平均三個仕上げて一日の賃 戦車帽一個の賃金四十錢、 代

四

一枚十八錢位

ます。一個編みまして二十三 一枚宛

ります 奈良市嘉畑町破石

「炭俵類の製造」 山邊郡驅住村大字下山田

四五枚から二十枚まで製作す 自家産の藁をもつて細郷を縫 あこさが出來、 さへ澤山縫ふてあれば一日十 ふて置き俵を綴むのです、縄

三等 貯蓄債券 は萱があればよいわけです ひ賣れます、外に材料さして

高市郡越智岡村 各スを

示信の紐の環附け」 北葛城郡新庄町東室「藁草履作り」

「賣薬袋貼り」 高市郡金橋村新堂 堀 部 彈丸切手 保 一枚宛 Œ

四等

字陀郡大字陀町上新 高市郡高取町清水谷

吉野郡大淀町下淵 西 浦 變

字智郡牧野村北山字智郡牧野村北山 噬 郎

原稿募集

一、部落會、町內會、 動狀況 隣組の活

な財産を持つこさいなつ 栗圏内で量り知れの大き き同じで日本も大東亞共 上れば一寸も心配ないの 買つて年々それから益が

一、時局下に於ける地方情況等 一、常會に関する感像や意見

大丈夫です御心配なくご いくら國債が殖えても

くお買びなさい。

ひまの種子は斯うして集めませう 第三回 十月下旬

だんしに成熟しまずから、熟 められます。 皆さんの種子は、次のやうに集り題めた上部落會、町内會、肚 した種子から採集して下さい。 ひまの種子は下の方から上へ 集め方は、 第四回

八月下旬 九月下旬 年團を通じて、市町村農會に蒐 十一月下旬 大日本婦人會員が取

第二回 第一回

奈良

縣月報

附

錄

照和十八年八月十五日發行 〈第四卷第八號〉

雅 郎 领 發 行 即 剧 人

111

井

富

蔵

應質答疑

方

課

の班長さが別人になつて 私のさころの町内倉では

問

(答)

たさひ借金が千圓出來で

それに相當す

っる田地を

がある。

らせす

るこさに致します。

(答) 問 私の町内會常會は二ヶ月 部落會や町内會の常會は も開かすなつてゐますが

> しいのですか。 あます。ごうすればよろ

本體です。若し二回も開 毎月一回は必ず開くのが 理由を質し必ず毎月閉く かずにしてあれば會長に (問)

私の様な者でも相當に買 町内からの割當で國債を 同一人にして下さい。 くざ日本の將來はごう

編纂 奈良 地方課

北葛城郡奢尾町查野町內會第二〇隣組共開炊事實况

翼くは

展望せよ

すめらみくにの行く手を 悠久なる眼を開いて 戦ひの一波一瀾に迷はず 高らかに鳴る

して輝き新時代の喇叭は 八紘爲字の大御旗は繰ぎ



回 霓

みよ

九月の 常会徹底事項

決戦下の食糧戦に勝ち拔かう

です。この苛烈な決戰の三き、外米を運ぶために大事な船を使つてはなりません 食糧は國内で自給出來るやうにせねばならぬ時です。 未曾有の廣い職域を舞豪ミする大決戦です。職力の增强のために船は絶對の要件

一大決意をもつて國を擧けて食糧戦に必ず勝ち拔きませう。 また今年の麥は相當の減敗です。この緊迫した食糧事情をしつかりこ認識して、

(一)食糧增産に邁進しよう

- 米の増産に努めるここ。 秋うんかなごの害虫を發見し、 共同で徹底的に驅除を行ひ
- 麥の增産に出來るだけ作付面積の擴張を圖るここ。
- 撃國草刈運動の刈取目標を達成する月です。 料や肥料の増産に努めるこう。 是が非でも目標を突破して飼

(二)決戦食生活を實踐しよう

- この秋は主食ミして麥、 豆類等の配給が一層強化されますから食べ方なごを一段ミエ夫するこ 小麥粉、 干うごんを初め、 じやがいも、 さつまい
- 米のみに頼らず混食や郷土食の實行につきめること。

二百七十億貯蓄攻略に邁進しよう

米英撃滅の氣魄をこめてこの目標に總突撃を敢行しませう。

- を節約し、持つてゐる物の活用や修繕を工夫し貯蓄財源の生み出しにつこ例年この月は貯蓄の成績が落ちがちです。この際一層戦争生活に徹し消費
- 加に努めるここ。 今月は郵便貯金の强調運動が行はれます。便利な定額貯金、 積立貯金の増

地方制度の改正と 內會 部 落 會

明治初年までは、 敷于年の長い歴史を持つてゐる 自然村落、又政治村落さして、 いのに對して、部落の方は千年 明治以來の歴史しか持つてゐなられたのも一に、かやうな實體 今日の市町村さいふものは、 今日の大字が 實したい さいふのに外ならな除いて、圓滿な自主的な發達に を尊重し、その活動上の不便を で、町内會部落會の法制化が圖

國家さしての體制を整へる上に 點に遺憾の點があり、 は日本の村の傳統を取り入れる 年の市町村制は、 準備さして作られた明治二十 産も持つてゐたのである。所が 全體さして税金も納めれば、財 役立つたのではあるが、反面で 新興日本の發展のための一つの 生んだのであつた。又當時 一面では近代 幾多の波 のである。 其の聯合會の財産及經費の管理 置を講するこさが出來る。 竝に區域の變更に關し必要な措 村長の監督機をはつきりさせた な發展を助長するために、市町 本的な事であるので、 れば、町内會部落會の活動上基 ①市町村長は町内會部落會及 その内容は、 その健全

新町村制を強化するための工作 内面的にはさう簡単な問題では 野の統一、或は氏神の合併も、 落民結合の紐帶を解體させるも さ見てよいのであるが、これ亦るここが出來る。 れた町村の合併、部落有林 精神的な、又物質的な部 町内倉部落會の活動に伴ふ財産 は自己の名を以て財産を所有す には町内會部落會及其の聯合會 ③市町村長の許可を得た場合 これば、

翠固な團結を維持して來た。又 來る。 て、近來注目すべき發展を示し 相助の美風を注入するものさし 町内會も、都市生活の中に隣保組織でもあるが、他面市町村の 命に遭遇して來たにも拘らず、 かやうに部落はいろしな選其の聯聯合會の長なして其の事 今度の地方制度の改正 務の一部を援助させることが出 下部組織でもあるからである。 大體以上の如くであるが、こ ③市町村長は町内會部落會及 ・町内會部落會は國民

を十 **愛達を期待するも** れら下部組織の伸び 「遠くの親類より近くの他人

の管理を適正にする方法であ、基礎の上に打建てたい。それが 協同共存の精神であり、 もあり、 生かしてゆきたい。そして地域 て見直して、目前の生活の中に 先が替んで來た協同生活を改め なるのである。 延いては、市町村發展の地盤で 部落なり町内會を、 協同體、又運命共同體さしての ならめさ思ふ。われわれば、 來つてゐるこさも著へ併せれば 第一線行政機構さして整備さ 教育、交通等各方面に市町村を 町村制實施以來五十餘年、產業 ならない。大きな抱機性をも いはゆる「部落根性」であっては かつた。けれごも、この精神は に一貫して流れて來たものは、 さいぶ言葉があるやうに、 のであつてほしいき同時に、 ては村の生活はなり立たな 一國總親和の源泉を ゆるぎな 雕

てゐる。 れは始めにも述べた通り、

八月十五日から「大和隣組總鑑軍」が、全縣下に展開されてゐるが、運動項目の一つに、常會開會時間の が単げられてゐる。「時は金」なご、時の尊さたなが、運動項目の一つに、常會開會時間の ち ぬ

みたみわれ みたみわれ みたみわれ この大みいくさに勝ちぬかん 力のかぎり働きぬかん 正しく明るく生きぬかん 大君にすべてを捧 げまつら

隣組規類運動

組隣和

隣組さお互親類さなつて、

がこの隣組親類運動である。

さる七月開かれ

次のやうなお話をして居られる。

た中央力會議の委員會の席上で

帝國海軍に

「起床五分前」「作樂始め五分前」ごいふ言葉があ

時計が定時を報すると同時に「ではこれから始めます」と決戦下の常會し、「開會五分前」の合圖で凡ての準備を完了

した愉快な常會を、

全縣下に行渡ら

世 P

あるこで私は 本そこで私は 他の親方を呼んでこれは他べられないかき聞くき他べられます。とが、われわれの何をおいても 場の親方を呼んでこれは他べられないかき聞くき他べられます。とが、われわれの何をおいても などった、晩の野菜に使つて貰へぬかせいふさ使ひませうさい。 為さればならぬ事業なのです。 ○一丹念に選り分けてみるミ、リヤカーに二臺の喰べれ 厚い血を流して培つてくれた湖でもする考でゐるこさは、聞かなくても剣る。そこで慰 日露の戦ひ以來、幾多の英鑑がさんの畑の一つ角に野菜を積みあげて醤れかくつてゐる の結晶ださいふこさです。日清 て、市街地の町内會なり隣組が、農村の部落會なり 共助共励の質を繋げてゐる。この仕掛けを押し廣め これは私が二三週間前に體験した小さな問題であ 日曜日の朝、田舎道を散步してゐますさ 相接互助をやらうさする 尊い血を流して培ってくれた議 造りこそ、わが八紘爲字の精神いたゞきたいのは、湍洲國の國 の指導者さして、 あります。この明けゆく大東亞で東亞の天地から驅逐されつト さころ、米英色彩は至るさころ の獨立運動も又熾烈さなつて來 て、八紘爲字の皇風の顯現する み、近くはピルマの獨立宣言、 霎に新生支那、 こしで考へて 泰國の發足な い戦果の陸に、 あるのです 自給計畫は成り立たない事情に 食糧増産なくしては東亞の食糧 の東亜における食糧基地さして ち扱くためには、食糧の自給を こくに於て私は思ふ、夢々し のみならず、大東亜戦争を勝

> 四三 第二節以下同樣ニマッ「みたみわれ」デ句切り、唱ヘルコト 息二唱へ、會衆モソノ通り續ケルコト 句二移ツテ「大君へおほきみ)にすべてを捧げまつらん」下 コテ句切り、會染ハ同ジカ「みれみわれ」ト續ケ、更二第二

最後ノ「この大みいくさ」トイフトコロハ、特ニハツキリ ヘルヤウ氣チツケルコン 晉 さ思ひ

の重要性は逐年増大し、同國の一策の中堅たる青少年義勇軍を毎 圖る必要があり、而も、湍洲國 を省みたい こ思ひます 縣も亦一個中隊を編成して聖地 年一萬五千名募集し、わが奈良 力強い歩みを示しつく 護に任するご同時に食糧増産に 大和の誇りを満洲の天地にも 日湖南國政府は、この開拓國 ある事質 副と奉ランコトラ期ス。 心チーニシテ追進シ、 (募集要領詳細は市町村長、 我等の天祖ノ宏談ラ 領

送出運動に際し、 滿蒙開拓青少年義勇軍奈良縣中隊編成 隣組各位に望む

默々さして果さ一各位は、銃さる者に對して、

鋤

國民學校長宛御照會下

臨勇軍奈良中隊

幹部六名出揃ふ

何れも本縣出身

どかせよう さ努力中であり

類もしい湍洲國の姿を見つめて 蒙開拓青少年義勇軍こそ、この 自分達を大日本帝國の指導の下 今や、大東亞十億の民が、この 今こそ。 本質に感激そのものであります。されたいのであります。 地に鋤をふるひつ、ある姿は、 愛國の熱情にもえて、満洲の天外ならないのです、至高至純、 默々たる大使命を奉するものに 役目のあるこさを。そして、 ねばならぬ大満洲國指導建設の われわれは、義勇軍が 滿 たいきた 最後に、

二、ツギニ發露者が第一節ノ第一句ラ「みれみわれ」下 一、發発者ガマジ「勝ち如く替」トイヒ、會衆ハ同ジカ「勝ち 一勝ちぬく誓」ノ唱和ノ仕方 督ツテ 天皇陛下ノ大御心ニ 洲建國ノ聖業ニ捧ゲ、神明ニシテ追進シ、身ヲ滿 奉ジ 唱

く警」ト繰り返へスコ

地方課長・ さる者も亦必要なるここをよく

除三〇〇人募集の最も中心であ減霧開拓青少年義勇軍奈良縣中

る中隊長、敦學、

敦練、庶務、

土の戦士さして、 北方磐石の守 領な唱和して、 應召して行づた軍人同様、義勇 軍の送出に、経大な御協力をい 理解され、家庭から、隣組から 各位さ共に義勇軍綱 特に滿十八歳から るのです 農事各指導員は何れも出揃び、 近く茨城縣幹部訓練所に入所す

では、十分に、この意義を理解これも各府縣に慰けてい、十分に、この意義を理解これも各府縣に慰けていた。 とか、この上は隊員三たいされる家庭 は輪廻廻れるの 募集は皆様の御協力を希認し は餘程連れるのですが、本縣は も各府縣に魁けて確保しま 〇人の

獨立中隊編成を

東條さんは

るさい 國造り に、一日も早く満洲國のやうな のであります。 れを信頼しつくある現状を考へ國造りに生きんさして、われわ この消洲國ないよく一登

加つてゐてこそ、凡ての無駄が除かれてゆく筈である。 片の肉も一枚の楽少葉も霞らせてはならない。お互に氣持がいつて行つて今晩の御飯たきにしませんかさいはないか。今はないからだ。お百姓さんここに縮を作つた木切れがあるから んごは工場に

お百姓さん 親類である。 場に對していひました。これはお互に温ひ氣持が適分喰へになつたら如何ですかこなぜ一言いはないかである。市場に持つて行けない野菜があるが、あな を呼んでいひました。近くの工場はあなたの隣組